

## 豊似湖の利用者数と利用者について (2016 年度)

高木大稔<sup>1)</sup> 中岡利泰<sup>1)</sup>

### はじめに

北海道えりも町にある豊似湖において、2015年度に自動カウンターを用いた豊似湖と猿留山道(沼見峠)の入込者数と利用者の調査を行った(高木ら,2015)。

豊似湖の入込者数は、調査期間の8月～11月の4ヶ月間で885人であった。1日あたりの入込者数は平均約7.3人で曜日別では、土日祝日に多く、平日の2.6倍であった。入込者数を月別に見ると9月に多く、309人と全体の約35%を占めた。

これは2015年度のシルバーウィークが19日土曜日から23日水曜日までが連休となったことが、大きな影響として考えられる。シルバーウィーク期間中には1日当たりの入込者数が50人を超える日もあった。

一方、猿留山道(沼見峠)の利用者または大型哺乳動物のカウント数は329であった。自動カウンターと同期するように設置したデジタルカメラから、大半の利用者がトレッキング装備などの服装であった。一部に半袖・半ズボンやサンダルでの好ましくない服装での利用者や、日没の1時間前などから猿留山道へ向かう利用者などが見られた。

豊似湖やその周辺には、ニホンザリガニ(絶滅危惧種Ⅱ類)やリシリシノブ(準絶滅危惧種NT)、クマゲラ(絶滅危惧種Ⅱ類)などの貴重な動植物が生息、生育しており、保全すべき環境であるが、週末を中心に1日に50人程度の利用者が訪れることもあり、自然環境への影響が懸念された。(高木ら, 2015)

えりも町では豊似湖を襟裳岬に次ぐ観光地としての活用を検討し、ヘリコプター遊覧飛行など様々な試みをしていることから、今後さらなる観

光客の増加が予想される。そこで、2016年度は豊似湖自然環境や生息する野生生物を保全・保護しながら観光資源として活用していくための方策(ワイズユース=賢明なる利用)を進める基礎資料とするため、豊似湖の利用者について調査を行ったので報告する。

### 豊似湖について

豊似湖はえりも町と広尾町の町境にある目黒地区から林道を約8.5km進んだ日高山脈襟裳国定公園内道有林に位置している。湖は周囲約1km、湖岸の岩石の状態から深い谷間が山崩れのためにせき止められて生じたものと考えられている(羽田ら, 1938)。湖は馬蹄の形を成しているで、地元では馬蹄湖とも呼ばれている。また、湖の山側には、東方の山陵に沿って猿留山道が通じている。

### I.入込者数調査(自動カウンター)の結果について

豊似湖の保全と活用に関する調査に伴い、現状の入込者数を把握するため、2015年度に引き続き自動カウンターを用いて豊似湖の入込者数調査を行った。

#### 調査方法

調査は2016年6月～11月までの6か月間実施した。豊似湖と豊似湖駐車場間の遊歩道を設置箇所A(以降T1)、湖奥の龍神祠の数十m山側の地点を設置箇所B(以降T2)として行った(図1)。

調査には自動カウンター(TRAILMASTER TM1550)を用いた。調査地点T2には猿留山道

1)えりも町郷土資料館 〒058-0203 北海道幌泉郡えりも町字新浜 207 番地 E-mail:erimomus@cocoa.ocn.ne.jp

(沼見峠)の利用者の状況(服装などの装備)を把握するため、デジタルカメラ(Nikon COOLPIX)を自動カウンターと連動するように設置した。

デジタルカメラのバッテリーの充電も含め、10日に1回程度データを回収した。回収したデータは、5時～19時までのものを解析に用いた。19時～翌5時までの夜間は、野生動物などの往来の可能性が高く、人の入込みがないものとして除いた。降雨による影響として午前5時～12時、12時～19時のそれぞれについて、1時間当たり1mm以上の降水量があった場合(気象庁では1mm/h以上で降雨とみなす)は、降雨により人の入込みである可能性が低いものとしてデータの解析に用いなかった。

T1については、利用者が豊似湖駐車場～湖間を往復するものと仮定し、カウンター数/2を豊似湖の利用者数とした。

T2については、豊似湖以外のコースを利用して沼見峠に行く登山者が帰路通過することがわかっていること、大型哺乳動物の往来が多く、その判別が難しいことから、デジタルカメラの写真(撮影時間)とカウンターの計測データから利用者数を導き、猿留山道(沼見峠)の利用者数とした。

なお、デジタルカメラの内部に大雨により水滴が侵入し、8月21日から9月22日までの約1ヶ月間、写真データが得られなかった。

T1、T2の双方について1日当たりの利用者数の平均は小数点第1位を四捨五入した。

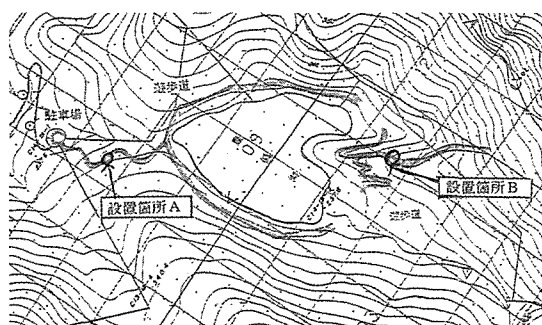


図1：調査地点 (1：5000)

## 結果と考察

### 1.豊似湖の利用者数について

集計したT1の自動カウンターのデータを表1に示した。豊似湖の利用者数は、調査期間6月～11月の6か月間で2,055人であった。1日あたりの入込者数は約11人、曜日別では、土・日・祝日に多く、平日の1.2倍であった(図2)。

利用者数を月別にみると、8月～10月に多かった、利用者は大型連休や秋の紅葉シーズンに集中しており、最も多かった8月は461人と全体の約22%を占めた。1日の利用者数が一番多かったのは10月9日で、69人の利用が見られた。

大型連休のある5月に調査を行っていないこと、冬季にワカサギ釣りに訪れる人がいることから、年間ではさらに多くの利用者があることが推測される。

### 2.猿留山道の利用者数について

集計したT2の自動カウンターのデータを表2に示した。猿留山道(沼見峠)の利用者数は101人、そのうち17人が往復した。しかし、往復した利用者のほとんどが1時間以内に戻ってきていることから、沼見峠までは行かず、途中で引き返してきた利用者が多いと考えられる。9月、10月には、20名程度の団体の利用者が確認された。猿留山道の無人入林届出簿によると9月25日には、21名の団体が豊似湖以外のコースから沼見峠を経由して、豊似湖に下っている。

デジタルカメラが、自動カウンターのカウント数すべてに対して作動しているわけではないことを考慮すると、利用者はより多いと推測できる。

### 3.デジタルカメラで撮影された写真について

T2の自動カウンターに同期して設置したデジタルカメラの写真では計169枚の写真が撮影され、

ヒト 44 枚 (26%)、シカ 113 枚 (67%)、その他 12 枚 (7%) であった (図 3)。

その他の写真の中にはイヌの写真が 2 枚、雨や雪によるもの 4 枚、不明が 6 枚という結果であった。今年度の調査ではヒグマは確認されなかった。

撮影された利用者の中には半袖や 7 分丈などの適切でない服装の利用者が昨年度に引き続き確認された。



写真 1：本調査で撮影されたエゾシカ



写真 2：本調査で撮影されたペット (イヌ)

## II. 豊似湖利用者調査の結果について

豊似湖の利用者の動向を把握することを目的に利用者に関する調査及びアンケート調査を行った。調査日は平成 28 年 5 月 2 日 (月)、3 日 (祝)、5 日 (祝)、15 日 (日)、6 月 5 日 (日)、11 日 (土)、30 日 (木)、7 月 1 日 (金)、10 日 (日)、16 日 (土)、17 日 (日)、24 日 (日)、8 月 7 日 (日)、11 日 (木) の 14 日間、のべ調査時間は 61 時間 31 分であった。

### 調査方法

調査はえりも町字目黒豊似湖駐車場にておこな  
い、車の到着出発時刻 (滞在時間)、乗員数、車種

(自家用・レンタカー)、道内外ナンバー、トイレの利用について調査担当者が記録し、協力者にアンケート調査を実施した。

### 結果と考察

#### 1. 自家用車・レンタカーの利用について

車のナンバーから自家用車利用・レンタカー利用について調べた結果、自家用車利用が 90.9% (130 台)、レンタカー利用が 9.1% (13 台) と自家用車での利用が多かった。

#### 2. 一組当たりの人数について

自家用車などの搭乗者数について調査 (137 組) した結果、一人が 32.8% (45 組)、二人が 44.5% (61 組) と多く、三人以上が 22.6% (31 組) であった。三人以上には小型バス (11 人)、自然観察会の団体 (約 20 名)、家族親戚、友人同士が含まれている。二人または一人で訪れる利用者が 3/4 以上であった。

#### 3. 利用者の居住地について

利用者の居住地については、車のナンバーからでは居住地区に違いが生じることもある (かつての居住地のナンバー等) ため、アンケート調査の回答から利用者の居住地について分析し、その結果を図 5、図 6 に示した。調査対象 88 組中では、北海道内 77.3% (68 組)、道外 22.7% (20 組) と北海道内の観光客が 3/4 以上を占めた。北海道内では札幌市 32.4%、十勝地方 30.9%、札幌以外の石狩地方 10.3%、えりも町内 8.8% であった。道外は関東 50.0%、中部、関西がともに 15.0%、東北 10.0% であった。アンケート調査では、海外からの利用者はいなかったが、香港からの利用者が一人、中国から複数人がレンタカーで訪れていることを確認している。

道内からの利用者が多く、札幌市・石狩地方、

十勝地方が多かった。道外では関東地方が多く、豊似湖を宣伝に活用している菓子メーカーのCMやテレビ番組で採り上げられたことに依るものと考えられる。

#### 4. 前泊地、後泊地について

前泊地、後泊地に関するアンケート調査の結果(図7)、えりも町に宿泊した利用者は、前泊13.4%(9組)、後泊4%(4組)であり、様似町、浦河町、広尾町の三町合計は、前泊10.5%(7組)、後泊3%(2組)であった。前泊後泊ともに、えりも町、様似町、浦河町、広尾町以外の地(自宅含む)が最も多く、調査対象67組中、前泊70.1%(47組)、後泊85.1%(57組)であった。

豊似湖への来訪者が、えりも町及び周辺3町の宿泊客増には、未だ結び付いていないといえる。

#### 5. 豊似湖来訪について

豊似湖を訪れた理由として、主目的が32.9%(25組)、旅のついでが67.1%(51組)であった。旅のついでに豊似湖を訪れた利用者が2/3以上となった。国道336号線と道道の交差点付近の看板を見て始めて来訪を決めたという観光客を確認している。豊似湖来訪の計画性のない場合もあり、服装・足回り等の準備が不十分になることにつながっている。

前述の前泊地・後泊地に関する調査の結果、えりも町内に宿泊する割合が少ないことが、豊似湖来訪が旅の主目的である割合が少ないことと一致した。

#### 6. 滞在時間について

豊似湖駐車場に到着してから出発するまでの時間を滞在時間とし、125台について結果を得た。その結果を図9に示した。20分以内20.8%(26台)、20-40分30.4%(38台)、40-60分16.0%(20

台)、60-80分1.6%(2台)、80分以上13.6%(17台)、不明17.6%(22台)であった。不明にはカメラマン、釣り人、猿留山道利用者などが含まれる。

一目見て帰る利用者は20分以内、少しゆっくり自然を楽しむ利用者は20-40分、一周したりゆっくり楽しむ利用者は40分以上、豊似湖を一周する利用者は60分以上を湖畔等で過ごしている。

#### 7. 豊似湖一周について

豊似湖の利用を考える上で、どのような利用形態があるか掌握するため、豊似湖を一周したか否かについて二者選択にて調査した。その結果(図10)、一周した15.3%(11組)、しない84.7%(61組)であった。一周しない中には、台風などの大雨で豊似湖の遊歩道が水没したため一周できない場合も含まれる。

6.の滞在時間の結果と照らし合わせると、豊似湖の湖畔を一周する人は、自然愛好家が多く、自然の中に入る準備をしているが、それ以外の人は、一目豊似湖を見ればよいという利用者と考えられる。

#### 8. 豊似湖の印象について

豊似湖の印象について4択で回答を求めた結果(図11)、とてもよかった78.9%(56組)、まあまあ19.7%(14組)、少し不満0%、不満1.4%(1組)であった。

自然愛好家、一目見たさの観光客の区別をしていないが、豊似湖の印象は「とてもよかった・まあよかった」と豊似湖の環境の良さが評価されている。

#### 9. トイレの利用について

豊似湖駐車場を利用した279人中、54.5%(152人)がトイレを利用した。平成28年4月から新

トイレとなり活用されている。

## 10. アンケート記述・聞き取り調査結果

アンケート記述・聞き取り調査の結果は次のとおりであった。なお、同様な意見はまとめた。(2)は複数回答数を示す。

### ① 良かったところ

- ・景色(2)
- ・水が澄んでいてきれい(4)
- ・久ぶりに来ました、変わらない景色でした。
- ・静か、きれい。(5)
- ・自然が残っていた。(3)
- ・植物、岩石がよかった。
- ・サクラソウが多くてよかった。
- ・静か、何も無い、キタキツネがいた。
- ・シマリスが見れた。小さい魚がいた。
- ・何となくハートフルだったかな～。
- ・とてもきれいでした。ハートがかわいかったです。
- ・歩道からハート形は確認できないと思っていたので、ハート形がちゃんと見えてうれしかったです。
- ・林道に標識があつてよかった。(2)

### ② 感想

- ・また来ます。(2)
- ・このまま残ってほしいです。(5)
- ・秘境な感じがよかったです。このまま観光地化しないといいですね。
- ・未舗装がいい、このままの自然で、誰でも来ていいところではない、自然が好きな人が来ていいところ
- ・荒らされていない、これ以上荒らされないように守ってください。
- ・自然も、環境も守って、バランスを取ってほし

い。

- ・手前からでも十分ハートに見えました。静かでもとってもきれいなハートレイク、また来ます。ありがとうございました。
- ・すばらしい。
- ・時間があれば一周したかった。
- ・水没していて一周できなかった。
- ・来てよかった。
- ・クマが出そうで一人で来るところではない。
- ・駐車場から意外に近かった。
- ・思ったより山奥だった。

### ③ ご意見、要望

- ・道への不満(狭い、ガタガタ、等)のご意見。(20)
- ・道に倒木があった。
- ・途中にあと何キロとか標識を。(4)
- ・途中不安になった。思ったより遠かった。(2)
- ・湖の周囲が歩きづらかった。(2)
- ・どんな生物がいるかわかれば・・・(2)
- ・ナキウサギがみたかった。(2)
- ・看板がなければ秘境かも。
- ・ハート型の湖のかたちをもっとよく見えたら。(4)
- ・展望台があればいい
- ・湖の周囲にハートの位置にいるかわかる表示があれば(2)
- ・沼の入口に上空からの写真看板があるといい。
- ・上からも見てみたい、気球があつたら。
- ・トイレに緊急用の電話のようなものがほしい。(2)
- ・えりもの宿、昼食などの紹介を。

### ④ 特記事項(感想含む)

- ・紅葉も見てみたい。湖一周ちょうど良い距離です。楽しめました。(ミニチュアダックス 1匹

同行)

- ・昆虫採集愛好家一人(猿留川沿いで車中泊するという)
- ・魚釣りに来ました。また、リベンジします。
- ・鉏路からの二人連れ、旧トイレの裏から降りてくる。ナキウサギの撮影。
- ・週末には早朝からナキウサギなどの撮影に入る常連さんがいる(3名ほど)
- ・日高振興局森林室が、立ち入り制限のため遊歩道沿いにロープを張る(5月下旬)。
- ・トイレに行って、地図を見てすぐ帰る人もいた(大阪ナンバーのバイク)
- ・夕方、高齢者の4人グループが、駐車場に来ても下車することもなく、すぐに帰って行った。
- ・札幌から、ドローン持参、低空での撮影をしていた。～いろいろな媒体で豊似湖が露出しているのだろうと感じた。
- ・服装に課題  
スカート的女性1名(2回)、パンプスの女性1名(3回)、パンプスの女性2名、内一人スカート(1回)  
半袖・半ズボン・サンダルの人あり(複数回)

まとめ

豊似湖の自然に対しての評価が高く、今のままの自然を残してほしい意見が多数ある。自然への関心よりもハートの形に関心があり、コマーシャルに利用されている空撮のイメージを持って訪れ、残念がる訪問者もいることから、空撮であること、駐車場からは豊似湖が見えないことなど適切に伝えるべきであろう。

豊似湖駐車場までの道のりに対する意見要望が多かった。道が砂利道であること、道有林の中で標識もあるが、不安を示す訪問者も少なからずいることから、豊似湖までの経路がどのような道で、どの程度の時間が必要なのか、周知する必要がある。

る。

標識などの設置を求める意見もあるが、自然環境や秘境としての価値が高く、評価している訪問者もいることから、俗化することを避け、どこにでもある観光地をとするのではなく、ナキウサギやキタキツネなどの野生動物が観察できる自然度が高い特性を活かし、後世に伝えていくことが求められている。

ヒグマ、ウルシ、マダニ、スズメバチなど人に危害を与える生物がいること、足元が不安定であることから、軽装ではなく自然の中に入ることを意識した服装が必要なこと等について、来訪者に伝えることが不可欠であり、自然との付き合い方などが学べる地域が求められている。

自動カウンターを用いた調査では、リードをつけていないペット(イヌ)を連れた利用者も確認された。犬などのペットはヒグマなどの野生動物を刺激するといわれており、クマに追われたイヌが飼い主のところへ逃げ帰り、飼い主がクマに襲われたという事例もある(環境省HP)。今後、糞尿の問題、付着外来生物によるかく乱、生態系保全、事故防止のためにも、ペット同行は厳禁されるべきである。

林道整備の声が大きいが、豊似湖の今後の保護と活用を念頭に入れ検討し、必ずしも多くの人が訪れるように整備が必要ではなく、豊似湖の豊かで特徴的な自然環境を、保護し、後世に残していくことが最大の努めであろう。

本研究が今後、豊似湖の自然環境を保全しつつ、継続的に利用していくための一助になれば幸いである。

文献

羽田良禾・楠木義明(1938) 豊似湖の水質と生物.陸水学雑誌 P:53-67

高木大稔・中岡利泰（2015） 豊似湖の利用者数  
と利用者について（2015年度） えりも研究第  
13号 P:1-6

高木大稔・中岡利泰（2015） 豊似湖観察会およ  
び豊似湖入込者数調査で確認された動植物 え  
りも研究第13号 P:7-8

気象庁HP <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>

環境省 HP 「知床先端部地区 利用心得 シレ  
ココ」 <https://www.env.go.jp/park/shiretoko/guide/sirecoco/bear02/>

表 1. 豊似湖利用者人数 (人) (T1)

6月					
	利用者数(人)	調査日数(日)	1日当たりの利用者数(人) (利用者数/調査日数)	利用日数	未利用日数
平日	177	22	8	18	4
土日祝	124	8	16	7	1
計	301	30	10	25	5
7月					
	利用者数(人)	調査日数(日)	1日当たりの利用者数(人) (利用者数/調査日数)	利用日数	未利用日数
平日	139	20	7	18	2
土日祝	229	11	21	11	0
計	368	31	12	29	2
8月					
	利用者数(人)	調査日数(日)	1日当たりの利用者数(人) (利用者数/調査日数)	利用日数	未利用日数
平日	264	22	12	15	7
土日祝	197	9	22	9	0
計	461	31	15	24	7
9月					
	利用者数(人)	調査日数(日)	1日当たりの利用者数(人) (利用者数/調査日数)	利用日数	未利用日数
平日	117	20	6	17	3
土日祝	220	10	22	10	0
計	337	30	11	27	3
10月					
	利用者数(人)	調査日数(日)	1日当たりの利用者数(人) (利用者数/調査日数)	利用日数	未利用日数
平日	145	20	7	18	2
土日祝	301	11	27	11	0
計	446	31	14	29	2
11月					
	利用者数(人)	調査日数(日)	1日当たりの利用者数(人) (利用者数/調査日数)	利用日数	未利用日数
平日	79	17	5	15	2
土日祝	63	10	6	6	4
計	142	27	5	21	6
合計(180日)					
	利用者数(人)	調査日数(日)	1日当たりの利用者数(人) (利用者数/調査日数)	利用日数	未利用日数
平日	921	121	8	101	20
土日祝	1134	59	19	54	5
計	2055	180	11	155	25

※利用日数 (自動カウンターでカウントされていた日数)

未利用日数(自動カウンターでのカウントがなかった日数)



表2. 猿留山道（沼見峠）の利用者数

6月						
	カウント数	調査日数(日)	1日当たりの利用者数(人) (利用者数/調査日数)	カウント日数	未カウント日数	写真+カウンター判定(人)
平日	49	22	2	6	16	0
土日祝	28	8	4	5	3	3
計	77	30	3	11	19	3
7月						
	カウント数	調査日数(日)	1日当たりの利用者数(人) (利用者数/調査日数)	カウント日数	未カウント日数	写真+カウンター判定(人)
平日	73	20	4	12	8	8
土日祝	25	11	2	7	4	7
計	98	31	3	19	12	15
8月						
	カウント数	調査日数(日)	1日当たりの利用者数(人) (利用者数/調査日数)	カウント日数	未カウント日数	写真+カウンター判定(人)
平日	45	22	2	9	13	0
土日祝	24	9	3	5	4	10
計	69	31	2	14	17	10
9月						
	カウント数	調査日数(日)	1日当たりの利用者数(人) (利用者数/調査日数)	カウント日数	未カウント日数	写真+カウンター判定(人)
平日	92	20	5	11	9	19
土日祝	93	10	9	8	2	28
計	185	30	6	19	11	47
10月						
	カウント数	調査日数(日)	1日当たりの利用者数(人) (利用者数/調査日数)	カウント日数	未カウント日数	写真+カウンター判定(人)
平日	94	20	5	12	8	18
土日祝	42	11	4	8	3	3
計	136	31	4	20	10	21
11月						
	カウント数	調査日数(日)	1日当たりの利用者数(人) (利用者数/調査日数)	カウント日数	未カウント日数	写真+カウンター判定(人)
平日	61	10	6	6	7	1
土日祝	16	10	2	4	3	4
計	77	20	4	10	10	5
合計(173日)						
	カウント数	調査日数(日)	1日当たりの利用者数(人) (利用者数/調査日数)	カウント日数	未カウント日数	写真+カウンター判定(人)
平日	414	114	4	56	61	46
土日祝	228	59	4	37	19	55
計	642	173	4	93	79	101

※利用日数（自動カウンターでカウントされていた日数）

未利用日数（自動カウンターでのカウントがなかった日数）

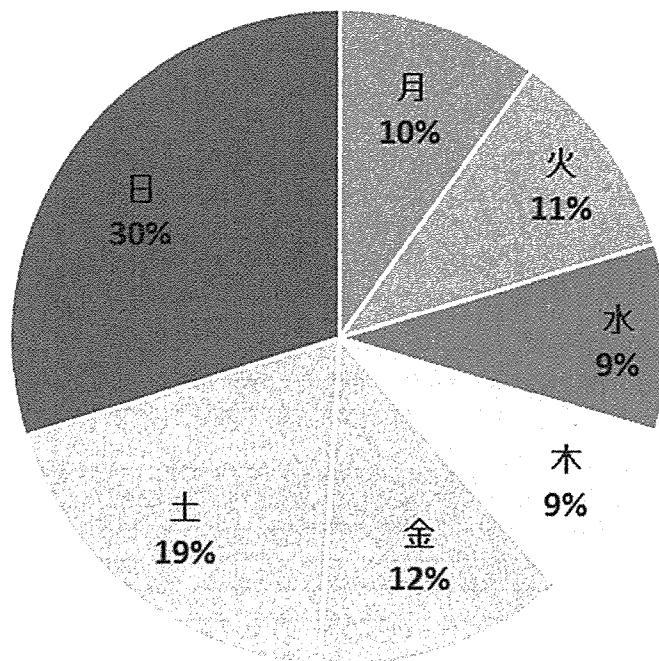


図2：利用者数の割合% (曜日別)

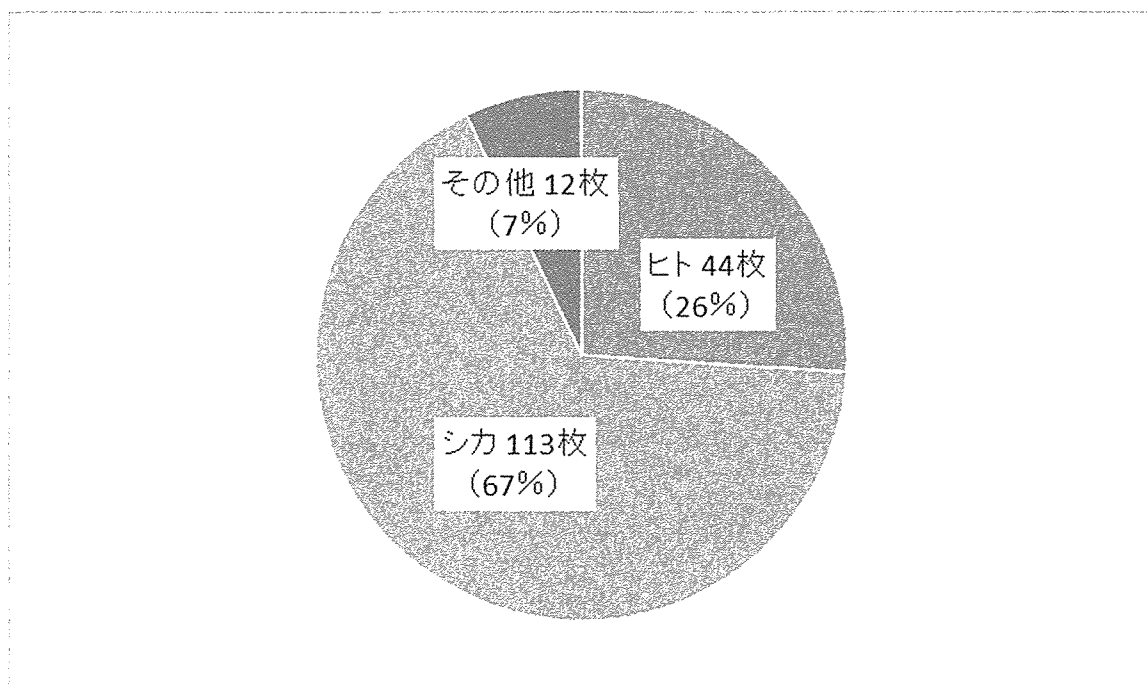


図3：デジタルカメラで撮影された写真 内訳 (全169枚中)

## 豊似湖 利用者アンケート

実施者：えりも町教育委員会

月 日

### アンケート調査 ご協力をお願い

近年、ハートの湖として、豊似湖は国内外からの注目が高まっています。この静かで豊かな自然を次世代に伝えていくためにも、適切な利用が必要と考えています。

今後の取組に、来訪者の皆さんのご意見も参考にしたいと考え、アンケート調査を実施することになりましたので、ご協力よろしく申し上げます。

- 1 どこから来られましたか？
- ・北海道内 (市町村名 )
  - ・北海道外 (都府県名 )
  - ・国外 (国名 )
- 2 お車は？
- ・自家用車
  - ・レンタカー
  - ・営業車(バスなど)
  - ・バイク
  - ・その他( )
- 3 昨夜の宿泊は？
- ・えりも
  - ・様似
  - ・浦河
  - ・広尾
  - ・その他( )
- 今夜の宿泊は？
- ・えりも
  - ・様似
  - ・浦河
  - ・広尾
  - ・その他( )
- 4 何人で来ましたか？
- ・1人
  - ・2人
  - ・3人
  - ・4人
  - ・5人以上
- 人
- 5 どなたと来ましたか？
- 1人
  - 家族
  - 友だち
- 6 豊似湖へは？
- ・旅の主目的
  - ・旅のついでに
- 7 湖を一周しましたか？
- した
  - しない
- 8 豊似湖の印象は？
- とてもよかった
  - よかった
  - まあまあ
  - 少し不満
  - とっても不満
- 9 感想・ご意見をお願いします。

ご協力ありがとうございました。

図4：アンケート用紙

表3. 豊似湖利用者調査 調査日数

	土・日・祝	平日	計
5月	3	1	4
6月	2	1	3
7月	4	1	5
8月	2	0	2
計	11	3	14

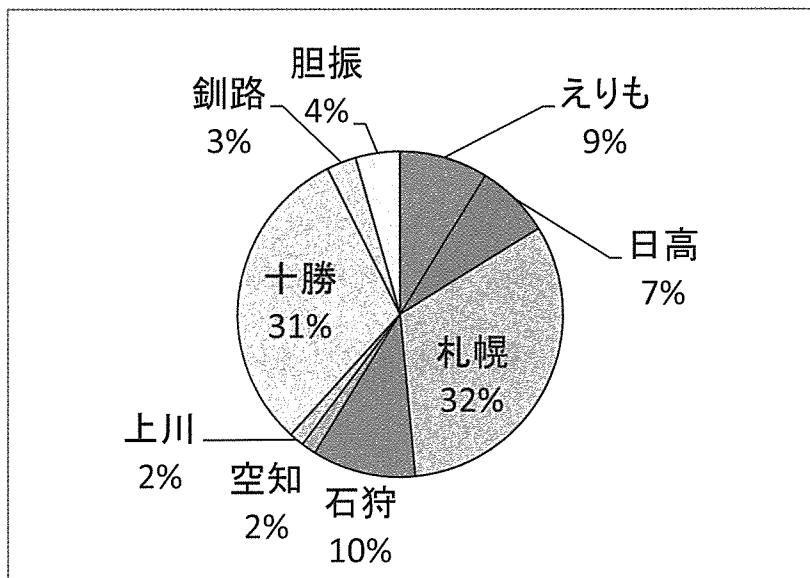


図5：利用者の居住地（道内）

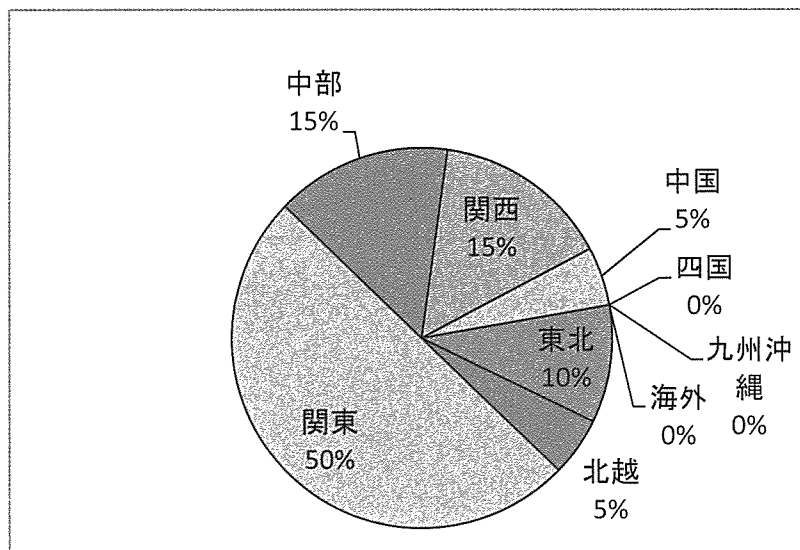


図6：利用者の居住地（道外）

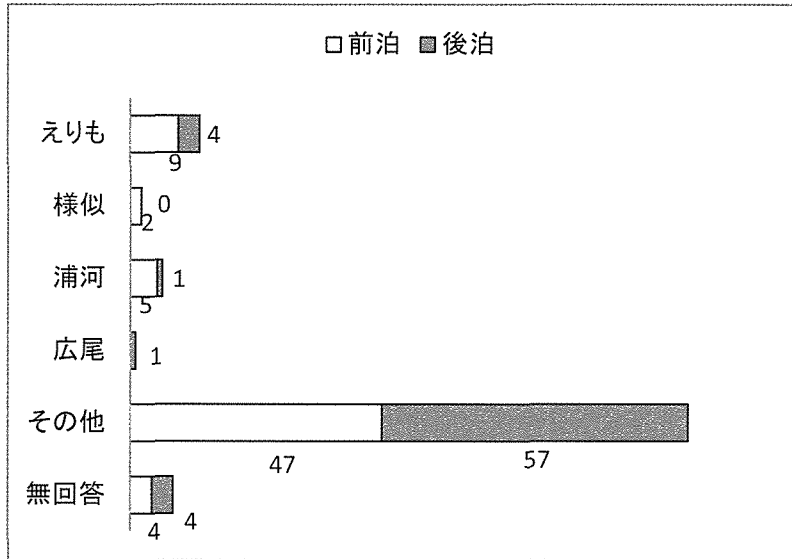


図7：利用者の前泊地・後泊地

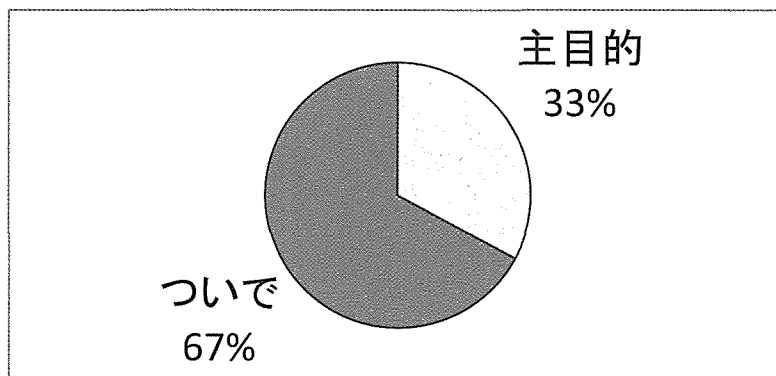


図8：豊似湖来訪について

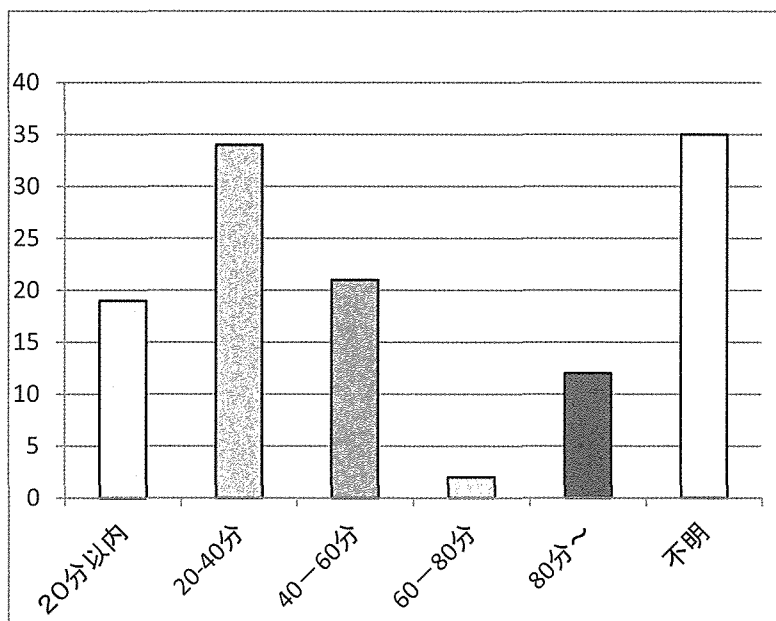


図9：車などの滞在時間と台数

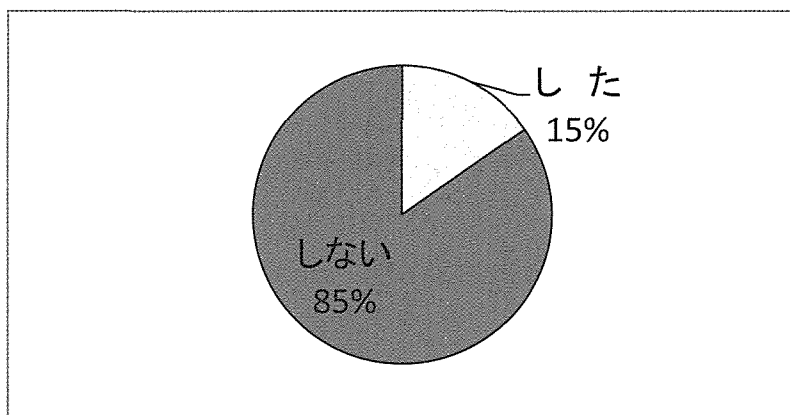


図10：豊似湖一週について

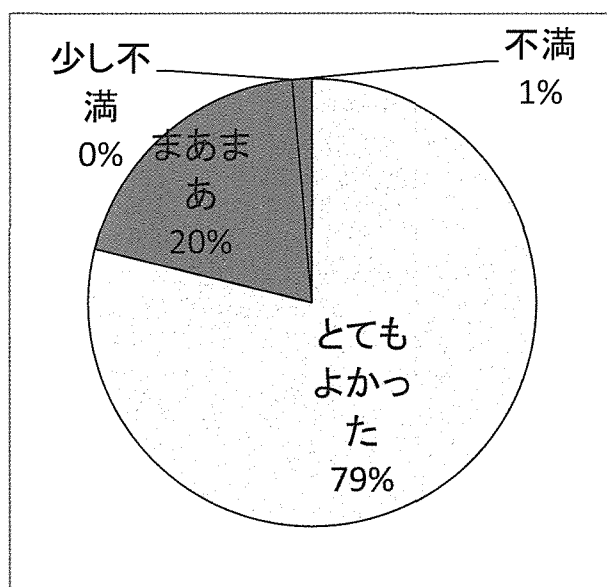


図11：豊似湖の印象